

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	9月	5日	記入者	久門たつお
調査者名	大谷	久門	鈴木	中川崇	仲谷

調査対象先	安養寺(西山浄土宗)				
所在地	奈良市鳴川町29			電話番号	0742-22-5057
代表者 調査対応者	脇坂元博住職				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1件 1棟	国宝:	1件 1棟
				重文:	件
				重文:	件

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input checked="" type="checkbox"/> その他(本堂は室町中期ごろの建造。県指定文化財であり、耐震補強に関しては県教委から特に指導もないので、今のままで存続させるのがいいと考えている。)	
	要望	屋根は創建当時、厚板段葺きとされ、江戸時代に本瓦葺きに換えられた。30年ほど前に屋根瓦を換えている。特に予定はない。	
	要望	特にない。	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	県指定になった1968(昭和43)年ごろ、本堂外部に火災報知機、内部に煙感知器、熱感知装置を設けている。消火器も配備。	
	今後の予定	消防設備については奈良市消防の検査は年1回、業者点検は年2回実施しており、今後も継続していく。	
	要望	特にない。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他()	
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	安養寺(西山浄土宗)
-------	------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	本堂前に設置していた木製案内板がシロアリ被害にあったことがあるが、本堂には影響がなかった。
③ 今後	今後の予定、要望	シロアリ対策は業者依頼で続けていく。

室町中期ごろ建造の県指定、安養寺本堂



本堂内部。円柱の上部の天井裏には船肘木が



天井に設置された煙感知器



天井際に線状に設けられた熱感知装置



奈良市教委が設けた説明板



【調査票記入者(久門たつお)の感想】

中将姫ゆかりのお寺が集まる奈良町の一角にあり、このお寺は中将姫の開祖と伝わる。地震対策は特に行われていないが、今後、瓦葺き替えの機会があれば、軽量化の対応を期待したい。防火対策は充実している。